

青梅総合医療センター通信'23年版

2023(令和5)年12月15日発行

発行 市立青梅総合医療センター 事務局管理課・広報サービス委員会 〒198-0042 青梅市東青梅4-16-5
☎0428-22-3191 FAX0428-24-5126 URL <https://www.mghp.ome.tokyo.jp/>



令和5年11月1日新病院本館が稼働しました 院長 大友 建一郎

新病院本館の稼働を契機に、
「市立青梅総合医療センター」
と病院名称を変更いたしました。

新しい病院名をよろしくお願いたします。

新病院整備事業は、1)救命救急センターのさらなる強化、2)高度急性期医療・高度専門医療の強化・拡充、3)災害に強い病院、4)地域の人々や職員に愛される病院、5)環境に配慮した病院、6)病院運営をしながらの安全かつ合理的な建て替え、の6つの方針に基づいて施設整備を行っています。

11月1日に稼働した新病院本館は、新病院整備事業の第1段階ですが、まさにこれらの方針を具現化した建物となっています。

1)救命救急センターのさらなる強化

新病院では救急外来を本館1階東側に配置しました。CT・MRI・血管造影室・内視鏡室などを隣接して配置し、屋上ヘリポート、3階の救急病棟・集中治療室・手術室・心臓カテーテル室とは専用エレベーターで直結されており、脳卒中・心臓血管疾患を含む多様な救急患者さんへの迅速な対応が可能となっています。

小児科外来・脳神経センター外来は救急外来近くに配置され、小児・脳卒中救急も24時間動線よく対応可能となりました。救急外来の一角には診察室と待合室を陰圧化した発熱外来があり、今後の新興感染症にも備えています。

2)高度急性期医療・高度専門医療の強化・拡充

外来および病棟でさまざまな整備を行いました。小児科と脳神経センター以外の外来は全て2階に集約され、廊下を挟んで採血・心電図・超音波検査などの検査エリアと近接しています。地域がん診療連携拠点病院としての機能を強化するべく、外来治療センターはがん相談支援室とともに2階外来エリアに隣接して配置し、ベッド数を20床から28床に拡充します。

3階には救命救急センター病棟、集中治療室、手術室、心臓カテーテル室などを集約しました。手術室は現在の7室から10室に拡充し、血管造影室と手術室を組み合わせたハイブリッド手術室、人工関節置換術などの手術が可能な無菌手術室2室、感染症患者さんの手術が可能な陰圧手術室を増設するとともに、ロボット支援下手術(ダヴィンチ)も開始しています。

4階から8階は病棟エリアとなりますが、病棟は心臓血管・消化器・呼吸器・脳神経など臓器別にセンター化して、内科と外科が一体となって治療を行っています。白血病など血液疾患の化学療法時に必要となる無菌病床は現在の4床から12床に拡充しました。

感染症対応としては、第2種感染症指定医療機関として感染症病床6床、結核患者さんに対して結核以外の治療を行う結核モデル病床2床を設置したほか、新興感染症パンデミック時には感染状況に応じて感染症病床を6床から13床、さらに病棟全体38床へと拡大できる設計としています。

さらに、感染症病棟に限らず、全病棟において病室ごとにトイレと洗面所を配置するとともに、スタッフステーションから廊下、さらに各病室へと空気の流れを作ることで感染症に強い構造となっています。

3)災害に強い病院

本館は免震構造となっています。1階のエントランスホールには医療設備を設けて災害時の医療提供を可能にするるとともに、ライフラインの多重化を図り、将来的には東棟地下に備蓄倉庫を整備する予定です。



4)地域の人々や職員に愛される病院づくり

“ストレスフリーな病院”を目標に、1階に紹介受診・入院受付・医療相談の窓口を一体化した患者支援センターを設置したほか、病床一床当たりの面積を広くするとともに個室を増やしてプライバシーに配慮しました。

産科はテラスのある専用病棟となり、個室を増やして、母児同室を可能としています。

5)環境への配慮

屋上庭園や雨水再利用システムの導入、人感センサーによる照明、高効率照明器具などを採用しました。

6)病院運営をしながらの安全かつ合理的な建て替え

新病院本館建設は、病院運営を継続しながらの現地立替えという難工事でしたが、大きな事故や遅延なく工事を進められたことは工事関係者の方々の努力の賜物と考えています。また、工事による病床数の削減に加えて新型コロナウイルス感染症対応のため一般病床が不足し、市民・医療関係者の皆様に大変なご迷惑をおかけいたしました。

今後は、これまで救命救急センターがあった西側の「旧新棟」を、精神科病棟、緩和ケア病棟、血液浄化センター、リハビリテーション室、事務室などからなる西館として改修します。西館は本館と渡り廊下で接続され、渡り廊下1階の途中に講堂を整備する予定です。その後に「東棟・西棟」を解体して外構整備を行い、全ての整備事業の完了は令和8年度を予定しています。工事完了まで3年以上あり、まだまだご不便・ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解・ご協力をお願いいたします。

当院の理念は「快適で優しい療養環境のもと、地域が必要とする高度な急性期医療を安全かつ患者さんを中心に実践する」であります。新病院本館が稼働して医療の設備面は格段に向上しました。新しい療養環境において質の高いチーム医療が患者さんを中心に提供できるように、接遇面など含めた医療の質の向上を図っていきたくと考えております。

今後も「患者さんを選んでもらえる病院」「職員が誇りを持って働ける病院」を目指して、地域の医療機関や介護・福祉施設と連携しながら、安全・安心な医療を提供できるよう努力してまいります。これからも市立青梅総合医療センターをよろしくお願いたします。

手術支援ロボットによる「ダヴィンチ (da Vinci)」手術を開始します

「万能の天才」と称されるレオナルド・ダ・ヴィンチ。その名にちなんだ医療用手術支援ロボット「ダヴィンチ」は米国インテュイティブ・サージカル社が開発し、1999年にヨーロッパで運用が始まりました。2023年になり、世界で約7500台、日本では約570台が活用されています。そのメリットの大きさから、主要な病院で次々と導入され、近年では国産ロボットの製造・拡販が急速に進められています。

手術支援ロボットといっても、実際にロボットが自分の力だけで手術をする訳ではありません。医師がロボットの腕(アーム)を遠隔操作して行う手術で、これまでの手術方法に比べ「より細かく正確で、身体への負担も少ない」という大きなメリットがあります。

導入にはステップを踏まねばならず、まずは「前立腺がんに対する前立腺全摘術」「直腸がんに対する切除術」「婦人科良性疾患に対する子宮全摘術」の3種類のダヴィンチ手術から開始いたします。手術実績を積み重ね、以降、様々な疾患に対してダヴィンチ手術を行ってまいります。



新病院 特集

青梅市立総合病院は、令和5年11月1日より「市立青梅総合医療センター」に名称を変更し、新たな施設で医療を提供できる病院を目指します。新しく生まれ変わった新病院に来院された際に知っておいてほしい情報

1 F

- エントランス：エントランスホールの天井は、3層吹き抜けの明るく安らぎのある空間で、2階・3階廊下壁のアート作品が記憶に残る癒しと安らぎで出迎えます。
2階にご用の方は、エスカレーターかエレベーターをご利用ください。



エスカレーター



エレベーター



本館エントランス

- 受付の場所が変わります
▷初めての受診または事前予約の方…①総合受付にお越しください。
▷再診の方…再来受付機にて受付手続きを行ってください。
※従来の診察券をお持ちの場合、新しい診察券に交換することができます。



①総合受付



再来受付機



自動会計機・後払いシステム領収書発行機



MRI



CT検査室



1 F

変更になる入口があります
▷正面玄関入口の変更はありません。東棟正面玄関からお入りください。
▷救急外来および発熱外来受診の方は正面玄関からお入りください。

2 F

- 2階：外来は、受付を分散させるため4箇所のブロック受付を配置。各科の診察室は、消化器、呼吸器、心臓血管などの臓器別センター化により、患者さんの移動を少なくして内科と外科でシームレスな連携を図ります。



2階ブロック受付



外来診察室



自動会計機



②中央注射室



栄養指導室



説明コーナー

説明コーナーを案内された方は、②、③ブロック受付前の番号札を取ってお待ちください。

説明コーナーの前にあります。



2階待合フロア（グリーン）



2 F



③生理検査 採血・採尿室

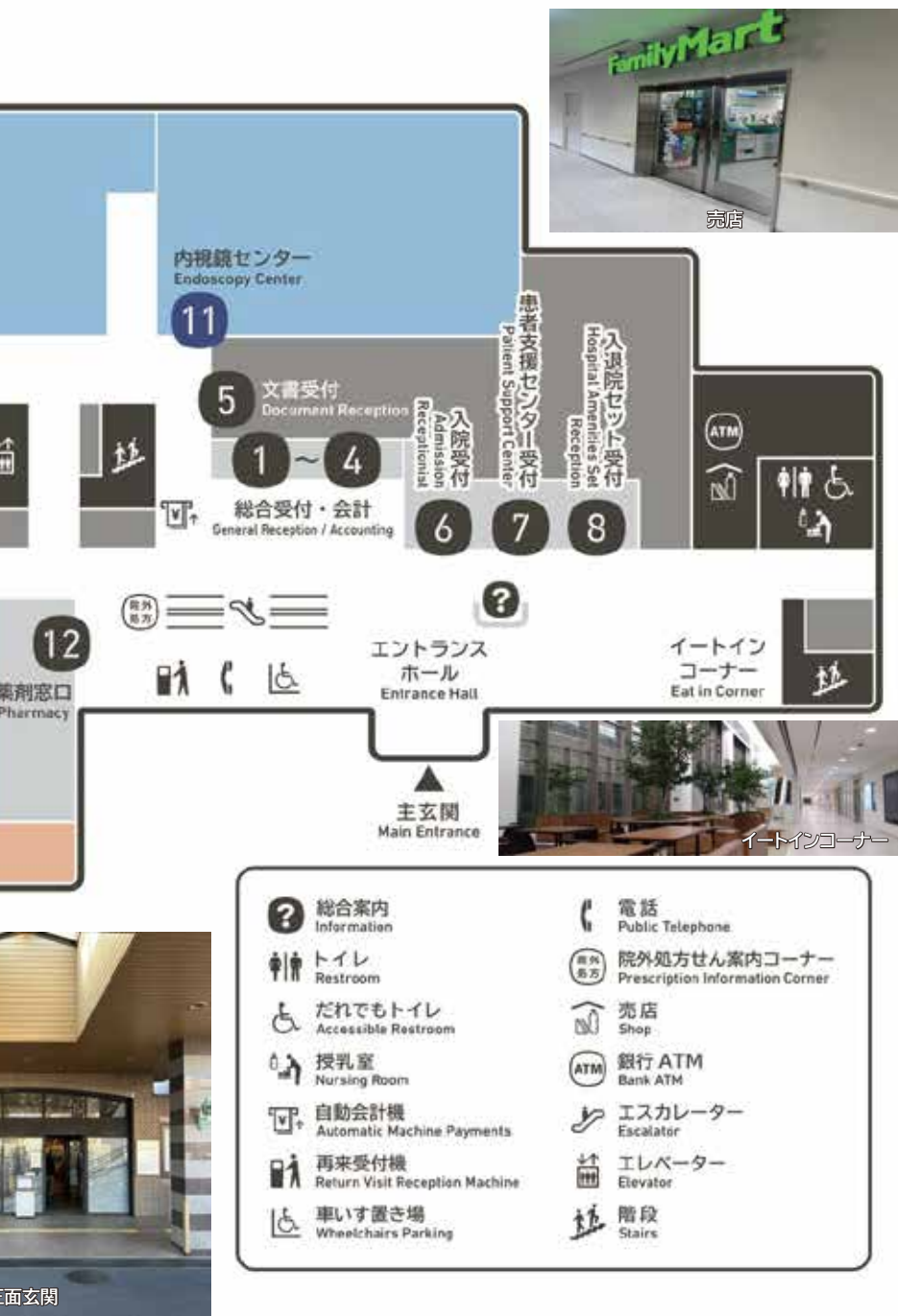


受付機



中待合室

(一部除く)で診療を開始します。高度急性期医療・救急・災害対策等の機能強化を図り、市民の方に快適で優しい療養環境のもと、安心安全な医療サービスをご提供いたします。それでは、市立青梅総合医療センター本館のご案内をいたします。

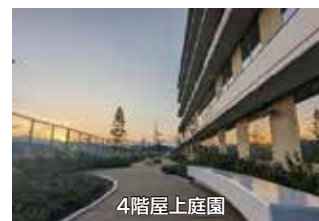


4F~8F 病棟フロア

- 4階~8階：各階の病棟は、1フロアに2つのスタッフステーションを配置し、東側をA病棟、西側をB病棟としています。各病室は、患者さんのプライバシーに配慮した作りとしており、現病院と比較して個室の割合を多く設置しました。特別個室は1フロアに1室の計5室、一般個室は116室、重症個室は34室設け、そのほか感染症、無菌病室などの優先個室を計27室設置しています。



4 A病棟は、産婦人科や小児科病棟を配置し、NICU3床、GCU6床を設置して周産期連携病院の機能を強化しています。



5階は消化器センター、6 B病棟は心血管センター、7 A病棟は呼吸器センター、7 B病棟は脳神経センターとして、外来同様に臓器別の構成となっており、各領域で内科と外科が一体となった治療が可能な病棟編成です。指定感染症病室(6床)を含む7 A病棟は、感染拡大の状況に応じて感染病床を6床から15床へ、さらに病棟全体38床へと増減し、感染患者を受入れます。

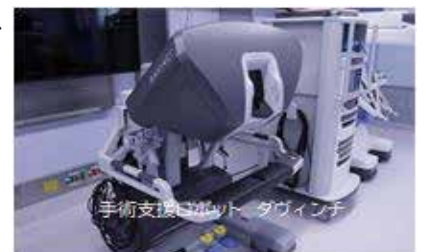
屋上階・3F・地下1F



- 屋上階：屋上階は、緊急時や災害時にドクターヘリや消防庁等のヘリコプターが離発着できるヘリポートを備えています。1階の救急救命センター直結のエレベーターにより迅速な救命活動が可能となっています。

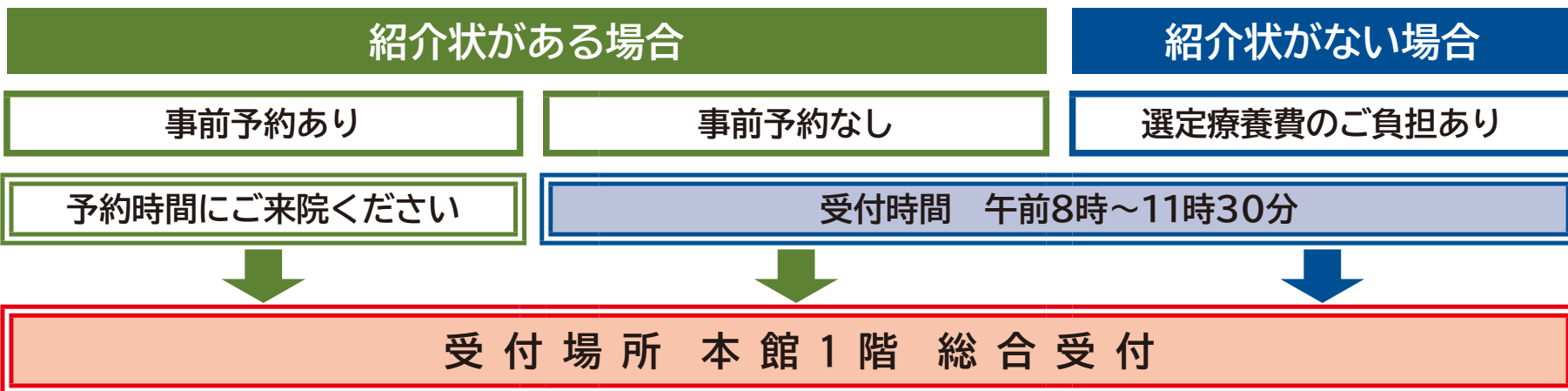


- 3階：救命救急センター病棟30床、手術室および心臓カテーテル室などを隣接配置し、救急専用エレベーターで、1階救急外来や屋上ヘリポートから救急患者さんの治療に迅速に対応します。手術室は、血管造影と手術を組み合わせ合わせたハイブリッド手術室や、手術支援ロボット(ダヴィンチ)を設置しています。



- B1階：物流部門を配置し、診療材料や医薬品、給食などの安定供給を図り、効率的な物流システムの仕組みが出来るようになっています。

外来のかかり方 当院を受診する方へー受付の流れについてご説明しますー



▶他院からの紹介状・書類をお持ちの方 各種書類は受付の際に1階 総合受付にお出してください。

▶当日の受診枠について 受診できる人数に限りがあります。定員に達した場合、時間内であっても受付を終了させていただきます。

※1 選定療養費とは
 当院は地域医療支援病院※2の指定を受けているため、他の医療機関からの紹介状を持参せず受診する場合は、原則として診療費のほかに選定療養費(7,700円税込)をご負担いただくことが法令で義務づけられています。

※2 地域医療支援病院とは
 当院は、平成29年8月29日付けで東京都知事より「地域医療支援病院」の承認を受けました。「地域医療支援病院」は、かかりつけ医を支援しつつ、高度・専門的な医療を提供する地域の中核病院のことで。

平日の夜間・休日の受診について

救急救命センターでは、直接来院される患者さんの診療受付時間を、土・日・祝日を含め、毎日夜9時から翌朝8時までとさせていただきます。
 原則として救急車の受入れ、他院からの紹介患者さんには、24時間対応しています。

●詳しくはこちらをご覧ください➡

外 来	救 急	アクセス・駐車場
		

●かかりつけ医を持ちましょう

かかりつけ医とは
 健康に関することを何でも相談でき、必要な時は専門の医療機関を紹介してくれる身近にいて頼りになる医師のことです。
 かかりつけ医検索はこちら➡

事前予約について
 かかりつけ医に紹介状を書いてもらう際にあわせて当院の予約も行ってもらいます。来院時の受付手続きの時間も短くなります。



通院支援アプリ「コンシェルジュ」について

当院では、患者さんの通院を支援するスマートフォン用アプリ「コンシェルジュ」を導入いたしました。本アプリには、「後払い」・「診察状況の通知」という2つの機能がございます。

「後払い」は、スマートフォンにアプリをダウンロードし、クレジットカード情報をご登録いただくことで、ご来院時にお支払い方法として後払いを選択できるようになります。診療後会計窓口でのお支払いをすることなくご帰宅いただけるというものです。(一部診療料を除く)

診療費は、診療から3日後にアプリで登録していただいたクレジットカードから決済されます。領収書は、決済後、ご来院のうえ、本館1階精算機横のディスプレイにて、ご自身で発行していただく必要があります。

「診察状況の通知」は、検査や診察の予約日前日に、予約内容を通知で受け取ることができるほか、当日も検査や診察の順番が近づいたことを通知してくれます。受診外来以外の場所でお待ちいただくことが可能となります。(一部診療料を除く)

詳しい内容や手順は、院内にて配布しておりますリーフレットをご覧ください。



HOPE LifeMark-コンシェルジュ

らくらく会計ご利用案内

スマートフォンでお手がる会計！

診察を終えたあとはスムーズに帰宅！

お支払いのクレジットカードで！

タッチで感染リスクを低減！

お支払い履歴はスマートフォンで確認！

2023年11月作成 市立青梅総合医療センター

院内無料 Wi-Fiのご案内

SSID	Free_Wi-Fi_OMCP
パスワード	omc18wifi

新病院本館の1階と2階で利用可能な無料Wi-Fiです。※連続接続は4時間となります。また、各病棟のフロアでもWi-Fiが利用できます。

